2017
7
Bulletin

東京山手

CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2017－18　会長主題

共に行動　共に喜びを

あずさ部長	大野貞次（東京西）	「組織は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう 」
東日本区理事	栗本治郎（熱海）	「広げよう　ワイズの仲間」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao　（台湾）	“ Respect Y's Movement”　「ワイズ運動を尊重しよう」
国 際 会 長	Henry Grindheim　（ノルウエー）	“ Let Us Walk in the Light－Together”「ともに、光の中を歩もう」

会長　上妻英夫／　副会長　尾内昌吉　／　書記　浅羽俊一郎　／　会計　中村孝誠
直前会長　金本伸二郎　／　ブリテン　功能文夫　／　担当主事　星住秀一

2017年　7月　例会

＜キックオフ・ＹＭＣＡサービス・ＡＳＦ・ＲＢＭの月＞

と　き　7月18日（火）18：30－20：30
ところ　山手センター　101号室

受　付	飯野さん、功能さん
司　会	中村さん
開会点鐘	会　長
モットー・ワイズソング	一　同
聖句朗読・祈祷	功能さん
大野あずさ部長公式訪問挨拶	
ゲスト・ビジター紹介	会　長
＜会　食＞	一　同
ハッピーバースデー	
卓話「ＹＭＣＡの現状（仮題）」	
（卓話者　交渉中）	
ニコニコ	一　同
報告・連絡事項	各担当
閉会点鐘	会　長

当番〔２班〕中村、尾内（規）、飯野

７月　HAPPY　BIRTHDAY

飯島愛子さん　20日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱東京UFJ銀行　高田馬場駅前支店
普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」

ワイズメンズクラブ　モットー

『 強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う 』
“ To acknowledge the duty
that accompanies every right ”

今月の聖句

老人は夢を見、若者は幻を見る。

ヨエル言３章２節

６月報告

会員在籍数		16 名
例会出席者	メ　ン	12 名
	メネット	― 名
ゲスト・ビジター		1 名
会員出席率		75 %
ニコニコ	7,450 円（累計 55,408 円）	

ＢＦ　国内切手　1,650g　　外国切手 50ｇ

６月例会　報告

６月 20 日（火）18：30－20：30
山手センター　101 号室
出席者：上妻、浅羽、飯島、飯島（愛）、尾内、尾内（規）、金本、功能、鈴木田、中村、星住　11 名
ゲスト・ビジター
　小原史奈子さん（東京たんぽぽ）　１名
　合計　12 名

　小原さんからは東京たんぽぽクラブ 15 周年記念例会の報告とスポンサークラブとして山手クラブの協力へのお礼の言葉をいただきました。

　6 月ハッピーバースデーはめでたく米寿を迎えられた尾内さんをみんなで祝いました。続いてはズンゴロ節、浅羽さん作詞・作曲のこの歌はまずメロディーが先に（1975 年）生まれそれに歌詞をつけたものだそうで、今年でちょうど 42 年になるとのこと。浅羽さんのピアノで元気に歌いました。

　任期を終える金本会長からは、１年間が無事終わりそうでありがたいとの謝辞に続いて、福島を知ろう、ワイズを知ろうと掲げた目標を振り返っての感想が述べられました。また、東日本区大会の報告がありました。（別項参照）

　あずさ部長の大任を終える浅羽さんからは、それぞれのクラブが頑張っている、1 年間の流れを考えているクラブがあるが、山手はそれが足りないと思うという感想を述べられました。

　星住さんからはサマーキャンプが人気だが、リーダーやグループ指導者の人手が足りないという報告があった。

　そして、上妻新会長の新年度方針発表がありました。上妻さんは最初は東京クラブに入会、1973 年 9 月―1974 年 6 月に東京クラブ会長、東京多摩クラブ時代にも会長をされています。山手クラブには 2005 年 1 月に転会されており、今回は 30 年振り、3 回目の会長というベテランです。

「 共に行動　共に喜びを 」が会長主題で、名門山手を何とかしなくちゃ、それには行動が大事、福島も現地を見てみなければという熱い思いの表明がありました。

　山手クラブ現役最古参で 6 月をもって退会される鈴木田さんは祐子さんの分も含めての挨拶をされました。

　そして、新旧会長の交代式が鈴木田さん、浅羽さん立ち合いのもとに行われました。

“共に行動　共に喜びを”

会長　上妻英夫

図らずも名門東京山手クラブの会長に指名された。東京多摩クラブ会長以来30年振りになる。

東京クラブに入会した時から数えると今年で56年、当時の東京クラブ会員数は42名、何れのクラブも会員数は多かった。しかし現在何が原因でこの様に減少したのであろうか。ワイズの目的は変わらないし、会員意識も変わらないと思う。では何であろうか。高齢化の体力減少か、またクラブ魅力の減少か。こう考えることは人任せである。

しかしクラブは生き物であると思う。生き物には充分な栄養と充分な手入れをしないと、すぐ枯れてしまう。枯らさず成長させるには、充分な手入れを施さなければならない。その手入れ育成は会員個人にあると思う。それには先ず会員自身が自覚し、元気にならなければならない。そこで私たち会員は今置かれている立場を熟慮し、山手クラブを強化するため何があるか。それは会員増強である。

先ず会員増強のためにご自分で良いと思ったことを発表し、可能なことをどしどし実行してみようではありませんか。

そこで今年度の活動重点

◎会員増強

・新会員を魅了する例会プログラム
　スピーカー駕籠料も考慮する

・「**ニコニコ元気カード**」記入
　今日の元気理由を書いて頂きブリテンに記載。元気―行動直結です。
　行動無くして成長無し。

◎ＤＢＣ交流

・大阪茨木クラブの25周年行事に参加し友好を深める。

◎山手学舎支援

・学舎生の有意義な活動を推進助言等で支援する。

◎福島を忘れない

・福島の災害に対しては福島への思いを１年以上ブリテンに連載し共有したが、その後については何が可能か。

以上

１年間を終えて

前会長　金本伸二郎

ワイズメンズクラブに「招かれた者としてふさわしく」歩むという主題を掲げ、地道に、コツコツと次世代に続くクラブの基礎作りを目指し、卓話を中心として会員間の交流を深めたいと活動方針を立て１年間を過ごしました。

勤務等のため、時間の調整ができず、積極的に他クラブへの活動には参加できませんでしたが、あずさ部会や評議会等を通し多くのワイズメンにお会いできたことは私の大きな宝となっています。

また、卓話者との出会いやその話を聞き、新たな視点を持ち、広がりを経験しました。皆様はいかがだったでしょうか。

１年間、右往左往していたこの拙い者を支え、温かく見守ってくださった、山手クラブの皆様に感謝します。

本当にありがとうございました。

６月ヨルダン会　報告

日時：　6月24日（水）18：00～20；45
場所：　山手センター
出席：　上妻、浅羽、飯野、尾内、金本、中村、星住、渋谷　　8名
議事：　金本会長年度最後のヨルダン会

１、７月例会　７月18日18：30　部長公式訪問
　卓話「(仮題）YMCＡの現状」卓話者未定
２、８月納涼例会　８月23日（水）18：30
　場所未定。
　例年通りYMCＡスタッフに声を掛ける。
３、山手クラブ例会の開催日時　昼間の開催を検討したが、諸般の状況を考慮し従来通り山手センターで18：30より行うこととした
４、ヨルダン会　第３水曜日13：30より山手センター前の喫茶店を会場とし行う。
５、大阪茨木クラブ２５周年記念例会　９月２日（土）上妻、尾内　参加予定。
６、７月１５日第１回評議会（松本）上妻、浅羽、尾内　出席予定。
７、山手学舎後援会費　書類を受け取り次第１万円を拠出することとした。
８、会計報告
９、EMCの一環として例会盛り上げのために「**ニコニコ元気カード**」を例会で配布する。

第20回東日本区大会 報告

金本伸二郎

６月３日、４日の両日、第２０回東日本区大会が、川越市にある「ウエスタ川越」で「**温故知人　～これまでの２０年　明日に向かって新しい出会いを**」のテーマのもと、ワイズメン、ユース、ＹＭＣＡの職員の方等 418 名の参加登録者の中開催されました。

開会前セレモニーとして地元川越の木遣り、お囃子で幕が開け、バナーセレモニーに続きました。私にとって、バナーをもっての初めての入場はアッという間でしたが、緊張感と心地よさが相まった素晴らしい体験の時間でした。

その後、利根川理事の開会宣言・点鐘から始まる開会式に移り、ワイズソング、聖書朗読・祈り、アジア太平洋地域会長、川越市長、川越観光協会会長、日本ＹＭＣＡ同盟総主事、西日本区理事からの祝辞を受け、この１年間に逝去されたワイズマンを憶えたのち、20 周年記念プログラムとしてここ 10 年間の理事などに登壇いただき、駆け足でワイズの 10 年を振り返る時間を参加者一同で持ちました。

東日本区アワー①では、利根川理事より会員増強においては目標達成できなかったものの、東日本区定款改訂作業など、「明日に向かって、今日動こう」という理事主題は達成できたとの報告を受けました。また、監査報告、各事業主任報告、各部報告等が続きましたが、これについては年次報告書をご覧いただきたく思います。一つ付け加えれば、当クラブの浅羽あずさ部長が非常にコンパクトにあずさ部と各クラブの様子を発表し、喝采を得ていました。

続く記念公演では、いずみ鉄道社長・鳥塚亮氏により、危機を乗り越えるための視点と行動について教えらました。

その後、ズンゴロ節を含むキャンプソングを参加者全員で歌い、晩餐会となり、第１日目を終えました。

２日目は朝９時過ぎからの聖日礼拝から出席しました。東日本区アワー②では各事業主任からの報告、各種表彰式、理事・役員引き継ぎ式と続き、利根川理事から栗本次期理事へリージョン旗が引き継がれました。また、大会旗も川越クラブから沼津クラブに引き継がれ、一同でＹＭＣＡの歌を斉唱、利根川理事の閉会点鐘で幕を閉じました。

大会運営は、利根川理事の川越クラブを核としてさいたまクラブ、所沢クラブの協力でなされたと聞いていますが、その労力は並々ならぬものであることを感じました。

山手クラブからの参加者は、浅羽、上妻、飯野、尾内、尾内（規）、功能、金本、星住の８名でした。

また、**山手クラブの受賞**は下記の通りです。

地域奉仕事業
　ＣＳ献金達成賞、ＡＳＦ献金達成賞
　ＦＦ献金達成賞
国際交流事業
　グランドスラム賞、ＹＥＳ献金達成賞
　ＲＢＭ献金達成賞、ＴＯＦ献金達成賞
　ＢＦ献金達成賞
　ＢＦ使用済み切手収集協力賞
ユース事業
　ロースター広告協力賞
会員増強事業
　ノンドロップ（退会者ゼロ）賞

以上

YMCAニュース

１、東京YMCA午餐会

７月の午餐会は、前アジア・太平洋YMCA同盟総主事の**山田 公平氏**をお招きして、「**2025年超高齢社会への展望**」をテーマにお話を伺います。すでに日本の社会問題となっている超高齢社会。少子化と同時に高齢者人口の増加、その中でも後期高齢者人口の割合が急増しています。2025年以降の日本はどう変化していくのか、社会保障制度の維持が困難になり、高齢者の生き方だけでなく、社会全体のあり方、考え方、地域社会のあり方などを考え、それを現実のものとして作り出していくことが求められます。その問題解決の糸口として栃木県宇都宮で始めた新しい戦略を紹介し、また、フロリダ州にある「サンシティ」や日本のコミュニティーモデルと言われる金沢市の「シェア金沢」を紹介してこの問題に向き合っていきます。

日時：7月20日（木）12：00～13：30
会場：東京大学YMCA
参加費：3,000円
申込：東京YMCA賛助会☎03－3615-5562
7月13日まで（定員70名、先着順）

２．しんじゅく防災フェスタ2017

新宿区とYMCAを含む区内NPO、大学等が協力して企画運営に当たる「みんなでつくる防災イベント」です。防災・減災について楽しく学べる１日となっています。

日時：9月3日（日）11：00－17：00
会場：都立戸山公園／新宿スポーツセンター

山手コミュニティーセンターは今年もこの防災フェスタで「イザ・カエルキャラバン」というコーナーを担当します。昨年も約600名の子どもたちがこのコーナーに訪れました。

３、東京YMCA夏祭り

奮ってご参加ください。（雨天決行）
日時：8月26日（日）11：30～15：30
会場：東京YMCA東陽町センター

以　上

お　た　よ　り

＜**鈴木田通夫さん・祐子さん**＞　メン・メネット共にこの55年間、多くの良き方々と出会い、ワイズライフを楽しませて頂きましたこと何よりの幸せと思っております。このよき思い出を胸にし、これからの人生を歩めることを感謝しております。皆様ありがとうございました。

＜**青鹿博明さん**＞　鈴木田さん・祐子さん！たくさんたくさんお教えいただき有難うございました。ホームでのご活躍を期待しています。

＜**上妻英夫さん**＞「五月晴れ電車に手を振る園児たち」　近くに出来た保育所の園児たちが10数名散歩している。電車が通る道路上で保育士数人と電車を見て園児たちは柵から手足を振ってハシャイでいるのどかな風景です。

＜**浅羽俊一郎さん**＞　１年間部長という大役を仰せつかり、漸くその任務が分かってきたところで大野次期部長にバトンタッチということになりました。色々学びました。人間関係、リーダーシップ、地域性、個性、組織運営、友情、クラブ内の世代ギャップ、Yとの関係等々。分かれば分かる程部長の仕事の難しさも分かりました。その中で一番学んで嬉しかったのは「努力は認められる」ということでした。

今年度は山手に戻り、上妻会長、皆さんとともにクラブをもり立てたいと思います。なお、７－８月はジュネーブですので例会は欠席です。新年度早々謝らねばなりません。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

編集後記

◎新年度に入りました。わが山手クラブの舵取りに超ベテラン上妻さんのご出馬をお願いしました。この１年間で何とか新しい仲間を迎え入れたいものです。◎金本さんにはメネットの健康上のご心配をお抱えの中、頑張っていただきましてありがとうございました。今回の会長経験は今後きっと役にたつことと思います。◎楽しいブリテンにするために皆さまのご寄稿をどうぞよろしくお願いします。（F．K）